

<参考資料>

- 厚生労働省「N95 マスクの例外的取扱い」（令和2年4月10日事務連絡令和2年8月4日改正）
<https://www.mhlw.go.jp/content/000621007.pdf>
- 厚生労働省「サージカルマスク、長袖ガウン、ゴーグル及びフェイスシールド、の例外的取扱いについて」（令和2年4月14日事務連絡）
<https://www.mhlw.go.jp/content/000622132.pdf>

<高性能マスクの使用について>

- ・汚染や水に濡れる、破損するなどした場合は取り換える。
- ・エアロゾル感染が生じやすい場合(陽性者の居室に入室する、食事介助をするなど)には高性能マスクを使用する。
- ・装着ごとにマスクがフィットしているかを確認する。

<隙間のないマスク着用に関するポイント>

・マスクを十分開き、鼻当てがきちんと密着しているか、鼻やあごの周辺はもれやすい箇所になるので注意してください。マスクをつける前後は必ず手指消毒をしましょう。

- ①マスクのフィルターの表面を手で覆ってゆっくり息を吐き、マスクと顔の間から空気が漏れていないことを確認する。
- ②同様に手で覆ってゆっくり息を吸い込み、マスクが顔に向かって吸い付く感覚があるか確認する。



<マスクの管理>

- ・マスクの前面には触れず、ゴム紐の部分を持ち通気性のよい場所に置く。
- ・箱などケースに入れる場合は、マスクの前面を下にして氏名等を記載しておく。
- ・マスクに直接フィルター機能を損ねるのでマスクに直接印は書かない。

